

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立裾野高等学校

目 次

事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・	24
学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・	25
在籍生徒調	・ ・ ・ ・ ・	27
入学志願者及び入学者数調	・ ・ ・ ・ ・	28
卒業生の動向調	・ ・ ・ ・ ・	29
生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・	31
授業料収納状況調	・ ・ ・ ・ ・	32
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	・ ・ ・ ・ ・	34
預金調	・ ・ ・ ・ ・	35
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・	36
委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・	38
負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・	40
建築工事調	・ ・ ・ ・ ・	42
公有財産調	・ ・ ・ ・ ・	44
借地借家等調	・ ・ ・ ・ ・	45
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	・ ・ ・ ・ ・	45
行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・	46
主要備品調	・ ・ ・ ・ ・	47
職員調	・ ・ ・ ・ ・	48
職員の年齢調	・ ・ ・ ・ ・	50
健康管理	・ ・ ・ ・ ・	50

事務事業の概要

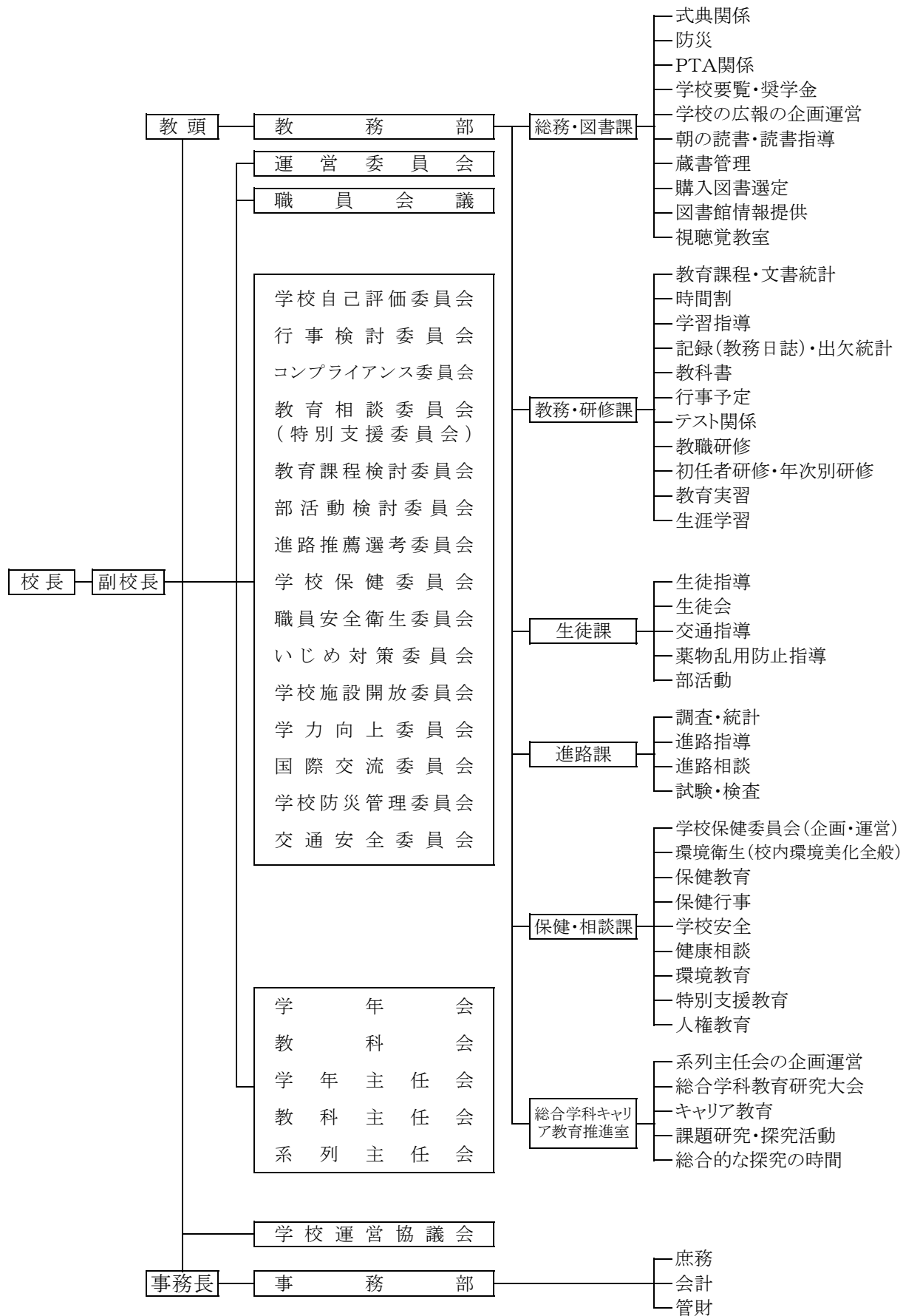
1 概況

(1) 学校の沿革

明治36年	4月	1日	小泉村外3か村学校組合設置認可
36年	4月	5日	佐野農業補習学校を駿東郡小泉村佐野に創立
大正10年	4月14日		静岡県佐野実業学校（乙種）となる。
12年	3月31日		講堂・新校舎竣工
昭和11年	4月21日		青年学校課程以上たることを認定
16年	12月26日		甲種昇格認可
17年	1月	7日	駿東郡小泉村佐野字中畑902番地に移転認可
20年	1月20日		国民学校初等科修了者入学5か年制認可
23年	4月	1日	学制改革により新制中学校併設および静岡県立沼津農業高等学校佐野教場となる。
28年	4月	1日	分離独立し、静岡県立裾野高等学校と校名改称 全日制課程（普通科・農業科・家庭科）、定時制課程を設置
31年	4月	1日	定時制課程生徒募集停止
33年	4月	1日	農業科生徒募集停止、商業科設置認可
34年	4月	1日	商業科100人の定員認可
35年	4月	1日	家庭科生徒募集停止
36年	8月15日		校舎増改築工事竣工
38年	4月	1日	急増期臨時学級増に伴い、第1学年入学者普通科3学級・商業科3学級
40年	10月15日		体育館兼講堂竣工
43年	3月31日		本館第一期工事竣工
44年	3月28日		本館第二期工事竣工
49年	3月25日		格技場竣工
51年	3月25日		特別教室棟竣工
51年	9月11日		造園緑化工事竣工
52年	9月13日		プール竣工（25m×16m）
55年	4月	1日	第1学年入学者普通科1学級増 普通科4学級・商業科3学級
55年	8月	7日	運動場農業用水路付替
55年	9月25日		運動場夜間照明施設竣工
56年	2月20日		図書室・文書実務室竣工
56年	3月31日		校地公図整備（国有地整理）により佐野900-1に地番変更
57年	4月	1日	第1学年入学者普通科1学級減 普通科3学級・商業科3学級
58年	4月	1日	第1学年入学者普通科1学級増 普通科4学級・商業科3学級

	58年10月	5日	本館耐震補強工事竣工
	59年	3月25日	運動場整備工事竣工
	59年10月	27日	創立80周年記念式典挙行
	60年10月	11日	別館耐震補強工事竣工
	62年	3月19日	防球ネット工事竣工（グラウンド東側）
	63年	8月20日	防球ネット工事竣工（グラウンド西側）
平成	元年	4月1日	第1学年入学者商業科1学級増 普通科4学級・商業科4学級
	元年	8月31日	本館南側窓サッシ改修工事竣工
	2年	4月1日	第1学年入学者商業科1学級減 普通科4学級・商業科3学級
	3年	3月25日	部室工事竣工
	4年	4月1日	第1学年入学者普通科1学級減 普通科3学級・商業科3学級
	5年10月	15日	創立90周年記念式典挙行
	10年	8月31日	防球ネット改修工事竣工（グラウンド東側）
	12年	3月21日	LL設備設置
	12年	3月27日	本館屋上防水改修工事竣工
	13年	3月15日	テニスコート改修工事竣工
	13年	4月1日	第1学年入学者商業科1学級減 普通科3学級・商業科2学級
	13年	7月31日	校内LAN工事竣工
	14年10月	31日	新館耐震補強工事竣工
	15年	3月20日	本館トイレ改修工事竣工
	15年	9月19日	本館外壁、内壁一部改修工事竣工
	16年	3月17日	和室等解体
	16年10月	29日	創立100周年記念式典挙行
	17年	1月11日	体育館耐震補強建築工事竣工
	17年	2月28日	特別教室棟改修工事竣工
	17年	4月1日	第1学年入学生から総合学科となる。
	17年10月	1日	創立100周年記念ホール竣工
	19年	3月31日	普通科、商業科閉科
	21年	2月17日	防球ネット設置工事竣工
	21年	7月24日	耐震補強建築工事のため旧長泉高校跡地へ仮移転
	22年	3月11日	管理教室棟、特別教室棟他耐震補強建築工事竣工
	24年	8月23日	太陽光発電設備設置工事竣工
	29年12月	18日	特別教室棟長寿命化改修工事竣工
令和	3年11月	30日	図書館屋上防水・外壁改修工事竣工
	4年	4月1日	第1学年入学者総合学科1学級減 総合学科4学級
	6年	4月1日	第1学年入学者総合学科1学級減 総合学科3学級

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

時代の要請の中で変化を続けてきた沼駿地区唯一の総合学科高校として、裾野市との連携協定締結のもとキャリア教育を重視し、系列の特色を踏まえて、地域や産業界等と連携し課題解決能力を高める取組を実行する。このことを通して自らの使命を自覚し高め、何事にも挑戦し社会の変化に柔軟に対応できる行動力を育成する。さらに持続可能社会構築を掲げる地域に貢献できる人材育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

① グラデュエーション・ポリシー

<全系列共通>

何事にも挑戦し、社会の変化に柔軟に対応できる行動力を身に付けた地域に貢献できる人を育成します。

ア 人文国際系列

文系科目を中心に学び、コミュニケーション能力や諸外国の文化を理解する力を育みます。

イ 自然科学系列

理系科目を中心に学び、自然科学の原理原則を理解し、応用する力を育みます。

ウ ビジネス系列

ビジネスにかかわる基本的な知識・技術とマナーを身に付け、社会人として必要な正しい勤労観と社会性を育みます。

エ 福祉介護系列

福祉にかかわる基本的な知識・技術とマナーを身に付け、「介護職員初任者研修」を取得し、地域福祉の推進と発展を担う職業人を育みます。

オ 保育系列

保育にかかわる基本的な知識・技術とマナーを身に付け、情操豊かで他者への思いやりの心を持つ豊かな人間性を育みます。

② カリキュラム・ポリシー

ア 総合学科の学び

1年次は、全員が共通の普通科目中心のカリキュラムで学びます。1年次の数学・英語の授業は少人数制授業を実施します。

2・3年次は、卒業後の進路実現に応じて、人文国際・自然科学・ビジネス・福祉介護・保育の5つの系列の教育課程を編成します。多種多様な教科・科目を設定した「総合選択科目」により、生徒一人ひとりの個性に応じた分野の学習が選べます。

イ キャリア教育の重視

「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」等での探究学習や体験活動をとおして、将来の生き方や夢の実現に向けて進むべき進路を考えます。

裾野市との連携協定の締結により、裾野市役所と連携した協働学習を行い、地域の大人との交流をとおして地域課題解決能力を高め、持続可能な社会の創り手としての自覚を促します。

ウ 地域との連携

各系列の学習やキャリア教育では、外部人材を積極的に活用し、学習内容の充実を図ります。

保育系列では、地域の親子が参加する「親子教室」を開催して、保育実習を週1回程度行います。

③ アドミッション・ポリシー

ア 基本的生活習慣

しっかりと挨拶ができる等、基本的生活習慣を身に付け、ルールを守ることができる生徒

イ 挑戦

自ら課題を見だし、その解決に向けて粘り強く取り組もうとするチャレンジ精神旺盛な生徒

ウ 変化

将来のために自分の生き方や在り方を深く考え、自分自身をよりよく変えていこうとする生徒

エ 地域貢献

地域の一員としての自覚を持ち、主体的に行動し、地域に貢献しようとする生徒

(3) スクール・ポリシーの具現化の柱（重点目標はゴシックで記載）

ア 基本的生活習慣

まず “日常生活の中でしっかりと挨拶ができる” から始め、基本的生活習慣の確立を目指す。また集団の中で自らの役割を見出し行動できる生徒を育成する。さらに社会に適應できるようにするために、卒業時までに社会人として必要な力（社会人基礎力）を育成する。

イ 自立心

自己教育力や規範意識を醸成し、生徒の自立性・社会性を伸長し、命を尊び健康で安全な生活を営むことができる力を育成する。

ウ 挑戦心

各系列の特色を生かして地域人材の積極的活用を図り、生徒の学習意欲の向上に努めるとともに、基礎・基本となる知識・技能の定着を図る。さらに自ら課題を見だし、その課題解決に向けて、粘り強く取り組むチャレンジ精神に富んだ生徒を育成する。

エ 変化に対応する力

生徒が自己の生き方を考え自らに合った進路実現ができるようキャリア教育を推進する。そして地域や産業社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する

オ 自己肯定力

学校行事・特別活動・部活動等への主体的な参加により、生徒一人ひとりが尊重され、認め合い、活躍でき、自信と誇りを持って生きていくことができる学校を目指す。

カ 地域貢献力

学校の情報を積極的に保護者や地域に発信するとともに、地域の諸課題について主体的に探究活動を行い、保護者や地域とのつながりを深めることで、地域貢献ができる人材を育成する。

キ グローバル力

郷土に誇りを持ちながら、地球的な規模の課題についても探究し、国内や国際社会に目を向け社会貢献できるグローバル人材を育成する。

ク 同僚性の向上

教職員は、常に研究と修養に努め、積極的に研修に参加し、最新の知識や技術の習得に励む。また、互いにコミュニケーションを深めるなど同僚性を高めて学校全体の指導力向上に貢献する。

ケ ワークライフバランス

教職員は、仕事を組織的・計画的に行って効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。

コ 教育環境の充実

保護者や地域住民等と連携して安心安全に学ぶことができる教育環境の整備・充実に努める。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	社会に適應できる基本的生活習慣の確立に向けた指導を充実する	裾野高校に入学してよかったと答える生徒 100% 【全員】	よかったと答えた生徒 81% (81%) () 内昨年度	B	昨年度と同等であるが、さらに教育活動全体を通して学校の魅力を高める。
		服装が良いと答える生徒 90%以上 【生徒課他】	よいと答えた生徒 95% (95%)	A	生徒の服装への自覚は、向上している。
		挨拶ができると答える生徒 90%以上 【生徒課他】	できると答えた生徒 89% (84%)	A	日頃の声掛け等により生徒自身の意識が向上し、挨拶のできる生徒が増えている。

		出席率 98.0%以上 遅刻・早退件数 前年度比 30%減 【教務研修課他】	出席率 97% (96%) 遅刻 8%減、早退 39%減	A	出席率は向上、遅刻・早退については減少した。引き続き家庭との連携と図っていく。
		基本的な生活習慣の指導が適切に行われていると答える生徒 85%以上【生徒課他】	適切に行われていると答えた生徒 86% (86%)	A	日々の生活の中で、基本的な生活習慣の指導を引き続き適切に行っていく。
		委員会活動が活発であると答える生徒 65%以上【生徒課他】	活発であると答えた生徒 58% (50%)	B	各委員会の活動を活発にしている。生徒数に合わせて委員会の数の調整が必要となる。
イ	望ましい社会性、規範意識を育成し、生徒の自立性・社会性を伸ばし、命を尊び健康で安全な生活を送らせる。	全校集会、学年集会で生徒に問題行動予防のための講話を毎回実施 問題行動の発生件数前年度比 20%減【生徒課他】	式典、集会で毎回注意喚起を行った。 問題行動の件数は、11件(25件) 55%減	A	SNSに係る犯罪、闇バイト等の指導の継続により、問題行動の件数は大きく減少した。ネット安全マナー講座やネット依存トラブル対策プログラム等を継続していく。
		PTA・地域との連携による交通安全指導を実施し、交通事故件数を前年度比 20%減 外部講師による交通安全教室を年 2 回実施 いじめ防止・スマホの適正使用に関する研修会(生徒・教員) 2 回以上実施 教育相談委員会の実施を年間 6 回以上 健康・安全に関する指導が適切に行われていると答える生徒 90%	交通事故 4 件 (5 件) 20%減 交通安全教室 2 回実施 いじめ・スマホ研修 2 回実施 教育相談委員会の実施なし 健康・安全に関する指導が適切に行われていると答えた生徒 87%	B	交通安全教室の開催、登下校の指導、日常の呼びかけの強化を図る。自転車のヘルメット着用を推進する。 スマホの適性使用に関して、業者による分析結果をもとに、個別指導に活かした。 教育相談委員会やケース会議を適宜開き、必要に応じて外部機関と連携しながら、生徒の抱える問題の解決や改善に努める。

	以上【生徒・保健 相談課他】	(79%)		
	避難訓練を年3 回実施。避難訓練 は大切と答える 生徒95%以上 地域防災訓練参 加率前年度比 10%増【総務図書 課他】	避難訓練は3 回実施 訓練は大切と 答えた生徒 96% (95%) 地域防災訓練 参加生徒7.6% (27人) 昨年 より増えている。	A	訓練の重要性を理解している生徒 は多いが、地域防災訓練の参加率 へ結びついていないため、さらに 呼びかけ等を強化したい。
	保健便りを年10 回は発行 疾病治療60%以 上 特に、歯科受 診率30%以上 朝食摂取率95% 以上【保健相談 課】	保健だよりは 年8回発行 疾病治療 44.4% 歯科受診率 20.5% (30%以 下) 朝食摂取率 80.1% (81%)	B	保健便りの発行によって、時節に よる健康管理上の注意喚起を促す ことができた。 受診率、朝食摂取率ともに高くな いため、C-ラーニング等を用いた 保護者への呼び掛け等も検討す る。
	教職員は生徒の 話を親身になっ て聞いてくれる と答える生徒 90%以上 生徒面談年3回 以上 生活アンケート を年3回実施し、 問題がある場合 は関係教職員が 即座に対応 定例いじめ対策 委員会を年3回 開催【保健相談 課他】	親身になって 聞いてくれる と答えた生徒 91% (82%) 生徒面談3回 以上実施 生活アンケー ト3回実施 定例いじめ対 策委員会2回 実施	A	面談、生活アンケートは計画通り 実施できた。特にアンケート等は、 端末の利用により生徒も回答しや すくなり、より実態を把握できる ようになっている。 C-ラーニングの使用により、生徒 との相談等についても丁寧な対応 が迅速にできるようになった。
	清掃により校内 美化が保たれて いると答える生 徒80%以上【保健 相談課】	校内美化が保 たれていると 答えた生徒 75.9% (61%)	A	トイレの使用等、施設の環境維持 において、生徒自身が心掛け、改 善に向け努力している。さらに利 用マナー等について、呼びかけの 強化が必要である

ウ	総合学科の特色を生かして、地域人材の活用を図り、基礎基本の定着や課題解決能力の向上を図る。	新教育課程・学習評価及びICT活用に関する研修を年3回以上実施【総務研修課他】	評価・ICT合わせて3回実施	A	端末の活用度の定着により授業でのICT活用頻度は上がっている。さらに効果的な活用方法について研修を重ねていきたい。
		家庭学習をよくやっていると答える生徒35%以上 基礎力診断テストにより基礎学力の定着度が把握できたと答える生徒80%以上 授業で力がついたという生徒80%以上【教務研修・進路課】	家庭学習をよくやっていると答えた生徒40.9% (38%) 基礎学力の定着度が把握できたと答えた生徒70.9% (69%) 授業で力がついたと答えた生徒84.8% (82%)	A	昨年度に比べ、家庭学習への取組、学力の定着、授業で力がついたという実感、全てにおいて上昇している。 小テストや課題等への取組により、学習習慣が身に付いている生徒は一定数いる。 基礎学力テストの客観的数値でも前回に比べ、成績が上昇した生徒の割合が増えている。
		授業がわかると答える生徒85%以上【教務研修課他】	授業がわかると答えた生徒90.1% (82%)	A	生徒による授業評価等を実施し、授業改善を行った成果がでている。
		家庭学習時間調査を定期的の実施し、平日が40分以上、休日が60分以上と答える生徒が80%以上【教務研修課他】	平日40分以上19% 休日60分以上10%	C	各教科で課題や小テスト等を調整して、毎日の学習時間の確保を図る。 家庭との連携をより積極的に図る。
		朝読書はよい効果があると答える生徒70%以上 生徒の借りる本平均4冊以上【総務図書課他】	よい効果があると答えた生徒67.3% (63%) 平均借り出し冊数2.3冊 (3.5冊)	B	朝読書による読書の習慣化は見られる。 図書便り等により読書への関心を深める。 自分で購入し読書をする生徒もいるため、調査の仕方を検討する。
		系列や選択科目が希望進路に当たっていると答える生徒90%以上	希望進路に当たっていると答えた生徒93% (88%)	A	系列の選択については、ガイダンスや個別面談等を通じて、ほぼ満足のいく選択ができた。 一日体験入学やオープンスクール

		<p>オープンスクールにおける来校者の満足度 97%以上</p> <p>地域人材の活用 150 件以上</p> <p>地域関連事業の実施年 30 件以上</p> <p>【教務研修課他】</p>	<p>一日体験授業において、授業がよかったと答えた中学生は 98%</p> <p>地域人材の活用 146 件</p> <p>地域関連事業の実施 46 件</p>	<p>の来校者は授業や施設見学、学校説明等で本校に対する理解を得られている。</p>
エ	<p>キャリア教育を推進し、地域や産業社会の変化に対応しながら自己実現のできる人材育成を図る。</p>	<p>3 年生の就職者の第一志望合格率 90%以上</p> <p>3 年生の進学者の第一志望合格率 90%以上</p> <p>3 月末までの進路決定 100%</p> <p>進路決定に向けた指導が充実していると答える生徒 90%以上【進路課他】</p>	<p>第一志望合格率 95% (93%)</p> <p>進学者の第一志望合格率 98.4%</p> <p>進路決定 100%</p> <p>指導が充実していると答えた生徒 87.8% (84%)</p>	<p>A</p> <p>入念なマッチングと担任間の情報交換に加え、面接対策や履歴指導等を綿密に行った結果、高い内定率を出すことができた。</p> <p>進学についても、個別指導等の効果が見られた。</p> <p>また、全職員で 3 年生の進路指導に当たる体制も好結果に結びついている。</p>
		<p>「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」が自己のためになったと答える生徒 80%以上【総合学科キャリア広報推進室】</p>	<p>自己のためになったと答えた生徒 70.3% (68%)</p>	<p>B</p> <p>1 年生は、探究活動の基礎力、スキルを身に付けることができた。</p> <p>2 年生は、地域貢献活動によって裾野市の魅力や課題を発見することができた。</p> <p>3 年生は、自己の将来について主体的、具体的に考え事故の在り方生き方を考えることができた。</p>
		<p>インターンシップ参加者 2 年生(就職希望者) 100%</p> <p>オープンキャンパス参加者(進学者) 100%</p> <p>志望学部・志望学科・志望職種が明確になったと答える 2 年生 90%以上</p> <p>自己の進路目標</p>	<p>就職希望 2 年生 100%参加</p> <p>進学希望オープンキャンパス参加者 100%</p> <p>志望学部等が明確になったと答えた 2 年生 75% (83%)</p> <p>系列を選ぶこ</p>	<p>A</p> <p>継続して、進路希望調査やインターンシップを夏休みに実施するなどして、生徒の進路意識を上げる手段とする。</p> <p>様々な進路行事を通して自分の進路について、じっくりと考えていると言える生徒もいる一方で、専門学科と比べて希望を固めることが遅い傾向もあり、早い段階からの進路意識の向上を図りたい。</p>

		に即して系列を選ぶことができた」と答える1年生が90%以上【進路課他】	とができた」と答えた生徒 84.5% (82%)		
		平日、休業中の補習参加者 各学年60人以上【進路課他】	1年 実施なし 2年 放課後講習16人(5人) 3年 放課後講習25人(63人)	B	2, 3年生の補習希望者は概ね参加することができた。
オ	学校行事、特別活動、部活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせ、学校の活性化を図る。	生徒会活動は行事の成功につながっていると答える生徒90%以上 学校行事は充実していると答える生徒90%以上【生徒課】	行事の成功につながっていると答えた生徒87.4% (78%) 充実していると答えた生徒88.8% (85%)	A	広報活動を広げるなどして、執行部は積極的に活動している。 五龍祭、球技大会等生徒が主体的に考え、運営することができた。
		HR活動を通してクラスのまとまりがあると答える生徒90%以上【生徒課他】	まとまりがあると答えた生徒82.8% (79%)	B	学校行事等を通じて、さらにクラスのまとまりを強めたい。
		所属している部活動に満足していると答える生徒85%以上【生徒課他】	満足していると答えた生徒78.2% (80%)	B	部活動の統廃合が進む中でも、生徒の興味・関心に応えられる活動を行っていく。
カ	保護者や地域住民等への広報活動を充実し、地域貢献活動を活発に行う。	HPを活用して毎週1回以上の情報を発信し、月のアクセス数を2,500以上とする。 HPやCラーニング等で学校の様子を知ることができる」と答え	HPにて情報発信し、アクセス数も大幅に超えた。 HPやCラーニング等で学校の様子を知ることができ	A	県のシステムの変更に伴い、さらに情報発信の場として活用する。 Cラーニングの導入により、生徒・保護者への連絡が密に行えるようになった。

		<p>る保護者 90%以上 各学年部は学期に3回以上保護者に対して学校の様子がわかる広報紙を発行する。 報道提供件数 20件以上 【情報委員会・総務・学年他】</p>	<p>たと答えた保護者 89.8% (90%) 学年部からの広報等は、C-ラーニングにて広報した。 報道提供件数は、30件</p>		
		<p>地域向け学校広報を月に1回発行する。【総学広報】</p>	<p>毎月1回発行した。</p>	A	<p>月ごとの発行だけでなく、紙面の充実等の工夫も行われた。</p>
		<p>PTA 総会・学年保護者会の出席率 30%以上 PTA 活動の趣旨を十分理解して参加していると答える保護者 70%以上【総務図書課】</p>	<p>総会出席率 20.5% (22.8%) 十分理解していると答えた保護者 61.3% (57%)</p>	B	<p>総会時に各学年の行事を取り入れるなど、工夫をした。 会員数の減少に伴って、役員数や仕事の内容の見直しが必要。 また、今後総会の在り方についても検討していく必要がある。</p>
		<p>清掃活動以外の一部活動一ボランティア活動の実施 100%【生徒課他】</p>	<p>3部活で実施した。</p>	C	<p>さらに多くの部活動での活動をできるとよい。</p>
キ	<p>職員及び生徒の国際化を推進し、グローバル人材を育成する。</p>	<p>地球的規模の課題について興味を持ったと答える生徒 60%以上 英語検定合格者数 3級 15人以上 準2級 10人以上 漢字検定合格者数 2級 5人以上、準2級 10人以上</p>	<p>興味を持ったと答えた生徒 53.8% 英検合格者 3級 3人、準2級 0人、2級 1人、 漢検合格者 2級 1人、準2級 0人、(3級 9人)</p>	B	<p>検定実施の際、授業等での生徒連絡を徹底することで受験者数を上げていく。 リスニング直前対策や個別指導により挑戦で受ける生徒も多かったため、合格者は目標達成できなかったが、意識づけができた。(英検) 3年生が積極的に受検した。全学年から受検者が出るように、授業等を通して積極的に声掛けが必要である。(漢検) 受検への呼び掛けをさらに促した</p>

		<p>数学検定合格者数 準2級 5人以上</p> <p>商業検定合格者数 全商検定(簿記・情報・電卓) 1級 20人以上</p> <p>【学年部・総合学科・教科】</p>	<p>数学検定 準2級 2人</p> <p>商業検合格者 全商1級 3人</p>		<p>い。(数検)</p> <p>系列にとらわれず、全ての生徒に受検の機会を知らせて挑戦を促すことができている。今後も継続して積極的に受検するような環境づくりに努める。(商業)</p>
ク	<p>教職員は研修に積極的に参加し、組織的な取組により学校力の向上に貢献する。</p>	<p>授業参観後の合評会や生徒による授業評価アンケートを非常勤講師まで含んで100%実施【教務研修課】</p>	<p>授業評価アンケートを実施した。(非常勤講師を除く)</p>	B	<p>授業評価アンケートの結果を踏まえて、各教員が授業改善に努めている。</p> <p>授業公開週間後の意見交換等をさらに充実したものにしたい。</p>
		<p>「主体的・対話的で深い学び」及び「ユニバーサルデザイン」を意識して授業を行う教員の割合が100%【教務研修課・教科他】</p>	<p>意識して授業を行うと答えた教員 97.1% (90%)</p>	A	<p>研修でも取り入れ、理解を深めている。また、ユニバーサルデザインへの意識もかなり向上している。</p>
		<p>必要な生徒に対して個別支援計画を作成</p> <p>UD教育を取り入れる教員 100%【保健相談課】</p>	<p>UD教育を取り入れている教員 88.2% (91%)</p>	B	<p>個々の生徒への対応や指導を行うことができた。個別の対応が充実してきており、通級指導による生徒の満足度は高い。</p>
		<p>教務・研修課、生徒課の連携により、採用1～3年目の教員のための生徒指導に関する研修を導入する。</p> <p>教職員が連携し、カリキュラム・マネジメントを意識した教育活動を実践し、教育効</p>	<p>若手教員の情報交換ならびに各課の先輩教諭からの助言によって、指導力の向上を図った。</p> <p>教育効果が上がったと実感する教員 79.4%</p>	A	<p>若手教諭の情報交換ならびに各課の先輩教諭からの助言によって、指導力の向上を図った。</p> <p>基底にある探究的活動への意識や教科横断型の授業内容等、より多岐に渡るカリキュラム・マネジメントの意識を醸成するために、教科間の情報交換をさらに密に行っていく。</p>

		果が上がったと実感する教員 80%【教務研修・生徒課】			
ケ	教職員は業務の効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。	月曜日の定時退勤励行 (午後6時完全退勤) 午後8時完全退勤90%以上 夏季休暇完全取得 一人当たり時間外勤務月平均30時間以下 一人当たりの年休取得日数平均13日以上【全員】	午後8時完全退勤は、年度初めや高校総体等の時期を除けば、概ねできていた。 夏季休暇取得はほぼ全職員が5日間取得済。 部活動等の多忙期は、半数の職員は、時間外勤務月30時間以上であったが、オフシーズンでは、時間外は減少した。 一人当たりの年休取得数は、1/3の職員が取得した。	A	超過時間の多い教員については、管理職および産業医による面談を実施。働き方について、見直す機会を作った。 業務削減への取組をさらに進めていく。
コ	安心安全な教育環境の整備、充実に努める。	体罰、セクハラ等 サービス事故0件 施設設備に起因する事故 件数0件 監査、検査での指摘、文書指導等の件数0件 学校の施設・設備が整備されていると答えた生徒85%以上 警報時の対応について承知していると答えている生徒や保護者85%以上【管理	サービス事故0件 施設設備に起因する事故件数0件 監査、検査での指摘、文書指導等の件数0件 整備されていると答えた生徒76.2% 警報時の対応について承知していると答えた生徒86% 保護者79%	B	体罰、セクハラ等については、研修等を実施して、教員のコンプライアンス意識の向上を図っている。 施設設備については、校舎等の老朽化もあるが、エアコンの設置等環境の整備ができています。 警報時の対応については、ホームページを活用するなどして徹底を図りたい。

		職・事務部・保健 相談課】			
--	--	------------------	--	--	--

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	社会に適応できる基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実する。	<p>頭髪・服装等に関する指導、挨拶指導、朝読書指導を徹底し、欠席・遅刻・早退を減少させ、基本的な生活習慣を確立する。初期指導、少人数クラス経営、登校指導、昼休み巡視、保護者や地域との連携を通し、生徒の基本的な生活習慣の確立に努める。</p> <p>問題を抱えた生徒等には生徒課、学年、保健・相談課が連携してサポート体制をつくり、組織的な対応を行う。</p> <p>生徒が主体となるような委員会活動を実施する。</p>	裾野高校に入学してよかったと答える生徒 100%	全員
			服装が良いと答える生徒 90%以上	生徒課 学年部
			挨拶ができると答える生徒 90%以上	生徒課 学年部
			出席率 98.0%以上 遅刻・早退件数 前年度比 30%減	教務・研修課 学年部
			基本的な生活習慣の指導が適切に行われていると答える生徒 85%以上	生徒課 学年部 保健・相談課
			委員会活動が活発であると答える生徒 65%以上	保健・相談課 総務・図書課 生徒課
イ	望ましい社会性、規範意識を育成し、生徒の自立性・社会性を伸ばし、命を尊び健康で安全な生活を送らせる。	<p>道徳教育の充実を図り、問題行動を減少させる。</p> <p>学年会、生活アンケート、いじめ対策委員会、教育相談委員会を実施して、いじめ等の学校の危機や問題行動を未然に防止する。</p> <p>カウンセリングを通して、生徒の心身の健康に積極的に取り組む。</p> <p>実際の災害を想定した実効性のある防災教育を実施する。地</p>	全校集会、学年集会で生徒に問題行動予防のための講話を毎回実施 問題行動の発生件数前年度比 20%減	生徒課 学年部
			PTA・地域との連携による交通安全指導を実施し、交通事故件数を前年度比 20%減 外部講師による交通安全教室を年 2 回実施	生徒課 保健・相談課
			いじめ防止・スマホの適正使用に関する研修会（生徒・教員）2 回以上実施 教育相談委員会の実施を年間 6 回以上 健康・安全に関する指導が適切に行われていると答	

		域防災訓練の実施日を生徒に周知する。	える生徒 90%以上		
		保健便りを定期的に発行する。	避難訓練を年 3 回実施。避難訓練は大切と答える生徒 95%以上 地域防災訓練参加率前年度比 10%増	総務・図書課	
			保健便りを年 10 回は発行 疾病治療 60%以上 特に、 歯科受診率 30%以上 朝食摂取率 95%以上	保健・相談課	
			面接週間や休業中の三者面談以外にも家庭や生徒との面談またはアンケートを積極的に行う。	教職員は生徒の話を親身になって聞いてくれると答える生徒 90%以上 生徒面談年 3 回以上 生活アンケートを年 3 回実施し、問題がある場合は関係教職員が即座に対応 定例いじめ対策委員会を年 3 回開催	保健・相談課 学年部 生徒課
			定期的な大掃除を実施するなど清掃活動の充実を図る。	清掃により校内美化が保たれていると答える生徒 80%以上	保健・相談課
ウ	総合学科の特色を生かして、地域人材の活用を図り、基礎基本の定着や課題解決能力の向上を図る。	主体的に学びに向かう生徒の増加を意識した授業力向上研修等を実施する。	学習評価及び ICT 等、教員の資質向上に関する研修を年 3 回以上実施する。	教務・研修課 教科	
		少人数授業、習熟度別授業、TTによりきめ細やかな指導を実施する。	家庭学習をよくやっていると答える生徒 35%以上 基礎力診断テストにより基礎学力の定着度が把握できたと答える生徒 75%以上 授業で力がついたという生徒 80%以上	教務・研修課 進路課 教科	
		各教科は授業の充実と基礎学力の向上のため初期指導を実施する。週末課題や課題テスト等を充実させることで、家庭学習習慣の定着を図る。	授業がわかると答える生徒 85%以上	教務・研修課 教科	
			家庭学習時間調査を定期的に実施し、生徒の実態を把握する。	教務・研修課 教科	

		読書活動を推進し、図書館利用率を向上させるとともに生徒の言語活動・表現力の充実を図る。	朝読書はよい効果があると答える生徒70%以上 年間で読んだ本平均4冊以上	総務・図書課 学年部
		教科選択のあり方を検討する。系列の特色化を図るために地域人材の活用を積極的に図る。また、地域の課題解決を図る取組を推進する。	系列や選択科目が希望進路に就いていると答える生徒90%以上 オープンスクールにおける来校者の満足度97%以上 地域人材の活用150件以上 地域関連事業の実施年30件以上	教務・研修課 進路課 総合学科 キャリア教育
エ	キャリア教育を推進し、地域や産業社会の変化に対応しながら自己実現のできる人材育成を図る。	進路課を中心に、平日や長期休業中の進学補習を計画的に実施するとともに進路希望に応じた個別指導の充実を図る。 総合学科キャリア広報推進室を中心に、計画的、組織的に「産業社会と人間」「総合的な探究の時間(キャリアアップセミナー)」を運営して自己の在り方・生き方を考えさせる。 『進路の手引』を十分に活用し、高校入学前の事前評価も踏まえ、高校3年間を見通し、計画的な進路指導・支援を行う。	3年生の就職者の第一志望合格率95%以上 3年生の進学者の第一志望合格率95%以上 3月末までの進路決定100% 進路決定に向けた指導が充実していると答える生徒90%以上	進路課 3年部
			「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」が自己のためになったと答える生徒80%以上	総合学科 キャリア教育
			インターンシップ参加者2年生(就職希望者)100% オープンキャンパス参加者(進学者)100% 志望学部・志望学科・志望職種が明確になったと答える2年生80%以上 自己の進路目標に即して系列を選ぶことができた と答える1年生が90%以上	進路課 2年部 1年部 キャリア教育
			平日、休業中の補習参加者各学年30人以上	進路課 学年部
オ	学校行事、特別活動、部活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせ、学校の活性化を図る。	生徒自らが行事を運営する。 HR活動を充実させ各自の所属感を向上させる。	生徒会活動は行事の成功につながっていると答える生徒90%以上 学校行事は充実している	生徒課

		<p>担任が学級経営に対し明確なビジョンを持ち、特色ある学級経営を実施する。</p> <p>指導方法を工夫し、部活動を活性化させる。</p> <p>部活動の日を設定し、全校生徒が部活動に取り組む体制を整える。</p> <p>外部人材を活用して部活動の専門性を確保する。</p>	と答える生徒 90%以上	
			HR 活動を通してクラスのまとまりがあると答える生徒 90%以上	生徒課 学年部 担任
			所属している部活動に満足していると答える生徒 85%以上	生徒課 各部活動
カ	<p>保護者や地域住民等への広報活動を充実し、地域貢献活動を活発に行う。</p>	<p>管理職、分掌、各学年部、教科は、中学校生徒保護者、地域や本校保護者に情報提供を積極的に行う。</p> <p>学校広報を裾野地区や中学校へ配布する。</p> <p>PTA 活動への保護者の参加を促す。</p> <p>地域貢献活動を積極的に行う。</p>	<p>HP を活用して毎週 1 回以上の情報を発信し、月のアクセス数を 2,500 以上とする。</p> <p>HP や C ラーニング等で学校の様子を知ることができる」と答える保護者 90%以上</p> <p>各学年部は学期に 3 回以上保護者に対して学校の様子がわかる広報紙を発行する。</p> <p>報道提供件数 20 件以上</p>	<p>管理職 情報委員会 総務課 学年部 生徒課 総合学科 教科</p>
			地域向け学校広報を月に 1 回発行する。	総合学科
			PTA 総会・学年保護者会の出席率 25%以上 PTA 活動の趣旨を十分理解して参加していると答える保護者 65%以上	総務・図書課
			清掃活動以外の一部活動一ボランティア活動の実施 100%	生徒課 各部活動
キ	<p>職員及び生徒の国際化を推進し、グローバル人材を育成する。</p>	<p>授業等において地球的規模の課題について探究する機会を設ける。</p> <p>補助金等を活用して各種検定等の資格取得を奨励する。</p>	<p>地球的規模の課題について興味を持ったと答える生徒 60%以上</p> <p>英語検定合格者数 3 級 15 人以上 準 2 級 10 人以</p>	1、2 年部 総合学科 教科

			<p>上 漢字検定合格者数 2級 5人以上、準2級 10人以上</p> <p>数学検定合格者数 準2 級5人以上</p> <p>商業検定合格者数 全商 検定（簿記・情報・電卓） 1級20人以上</p>	
ク	教職員は研修に積極的に参加し、組織的な取組により学校力の向上に貢献する。	教員相互の授業参観や生徒による授業評価を実施して授業改善に取り組む。	授業参観後の合評会や生徒による授業評価アンケートを100%実施	教務・研修課
		授業力向上研修を定期的に実施する。 県内外の特色ある取組を視察し、研修参加を促進する。	「主体的・対話的で深い学び」及び「ユニバーサルデザイン」を意識して授業を行う教員の割合が100%	教務・研修課 教科
		教務・研修課、保健・相談課、スクールカウンセラーと連携し教育研修を実施する。 採用1～3年目の教員を対象とした生徒指導研修を実施する。	必要な生徒に対して個別支援計画を作成 UD教育を取り入れる教員100%	保健・相談課
		カリキュラム・マネジメントを意識した学校づくり・学校力の向上に取り組む。	教務・研修課、生徒課の連携により、採用1～3年目の教員のための生徒指導に関する研修を導入する。 教職員が連携し、カリキュラム・マネジメントを意識した教育活動を実践し、教育効果が上がったと実感する教員80%	教務・研修課 生徒課

ケ	教職員は業務の効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。	定例会議の実施及び計画的、組織的な取組を実施する。 定時退勤日を設定し管理職から教職員に早めの退勤を促し、時間外勤務を削減する。 年休・夏季休暇等の取得の向上を目指すため業務削減に取り組む。 勤務実態を振り返る機会を定期的に設定する。 時間外勤務を削減する。	月曜日の定時退勤励行 (午後6時完全退勤) 午後8時完全退勤 90%以上 夏季休暇完全取得 一人当たり時間外勤務月平均30時間以下 一人当たりの年休取得日数平均13日以上	全員
コ	安心安全な教育環境の整備、充実に努める。	コンプライアンス意識を徹底して、体罰、セクハラ等の学校不祥事を防止する。 学校経営予算の効果的な執行に努めるとともに、適正な会計処理を行う。 学期に一度安全点検を実施し、事務部と連携して整備・充実に努める。 警報時の対応について周知徹底を図る。	体罰、セクハラ等服務事故0件 施設設備に起因する事故件数0件 監査、検査での指摘、文書指導等の件数0件 学校の施設・設備が整備されていると答えた生徒85%以上 警報時の対応について承知していると答えている生徒や保護者85%以上	管理職 事務部 保健・相談課

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
6	<ul style="list-style-type: none"> ・保育系列の3年生が「保育実習」の授業で、地域の0～3歳児と保護者を対象とした「親子教室」を開催し、校内において実習を行った。 ・福祉系列の3年生は、「介護職員初任者研修」の終了を目指している。その中で消防署職員による災害時の救護や救急救命講習、専門職による障害者理解の学習を取り入れている。 ・2年生のキャリア教育において、外部人材を多数招聘している。裾野市唯一の県立高校として、連携協定を結ぶ市役所との「本気」の地域創生課題解決プログラムを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ1週間に1度の割合で同じ親子の面倒を見ることで、直接母親とコミュニケーションがとりながら、幼児の成長を身近で観察できる貴重な体験ができている。 ・外部の専門家による授業は、生徒の刺激になり、より深い知識や技能の習得につながっている。また、地域貢献の意識も高めることができた。

7	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のキャリア教育の「地域学」では、探究学習プログラム「エンジン」を導入し、地元企業の協力を得て、様々な課題解決へ向けた探究学習を行っている。 ・2年生のキャリア教育において、裾野市唯一の県立高校として、地域創生課題解決プログラムを実施している。 ・商業科の授業において、大学や地域の企業等の外部の人材を多く活用した授業を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段関わることの少ない専門的な企業の抱える課題、裾野市地域の課題等を自分なりに発見し、その解決に向けた対策を考えることができた。 ・外部人材を積極的に活用したことで、歴史や文化、産業等について幅広く学び、充実した課題学習ができた。
---	---	---

5 教職員について

(1) 異動状況

(単位：人)

区分	本務職員			小計	臨時・ 会計年度任用職員				小計	合計
	校長	事務長	教諭		教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	スクールカウンセラー		
転出者	1	1	8	10	1				1	11
退職者					1	2		1	4	4
転入者			4	4						4
新任者	1	1		2		1	1	1	3	5
役職定年										
差引増減	0	0	△4	△4	△2	△1	1	0	△2	△6

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	本務職員										小計	臨時・会計年度任用職員							小計	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	主任	主事	主任技能員		教諭(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤労務職員	スクールカウンセラー	部活動指導員	非常勤嘱託員		
計	1	1	1	31	1	1	1	1	1	1	40	2	1	9	2	2	1	1	18	58

(3) 健康管理について

結核・生活習慣病の検診を定期的実施し、病気の早期発見、治療に努めている。

再検査や精密検査が必要な職員には早期受診を指導している。また、生活習慣病検診の結果については、健康管理医の指導を受けている。

令和6年度は、平日の最終退勤時間(21:00)の徹底、定時退庁日(毎週月曜日)の徹底、年休の積極的な取得の奨励など、職員自身による勤務状況の振り返り等で長時間労働の削減と一人一人の勤務状況や健康状態の把握に努めた。

令和7年度も、平日の最終退勤時間(21:00)の徹底、定時退庁日(毎週月曜日)の奨励、年休の積極的な取得の奨励、全職員でのストレスチェック事業の活用、勤務管理システムでの勤務管理、職員自身

による勤務状況の振り返り等で、職員の長時間労働の削減と勤務状況や健康状況の把握に努める。

また、超過勤務の続く職員に対しては希望を確認し、産業医との面談を実施する予定である。

さらに、管理職から日常的な声掛けを行い、体調不良者の把握に努めるとともに、職員へ働き方改革を促す。

(4) 教職員の研修について

① 研修の目的

(ア) 令和7年度は、令和6年度から全学年の生徒が一人一台端末を導入し2年目となるため、さらに一層の学習指導におけるパソコン等ICTの活用に習熟し、効率的な授業など業務改善を目指すことを考え、教職員全体の授業力を向上させる研修に取り組む。

(イ) 生徒指導の基礎である発達支持的生徒指導についての研修を実施し、生徒への対応等について知識や理解を深める。教員だけでなくスクールカウンセラー等の協力を得ながら、教育活動を通して、すべての生徒の発達を支える働きかけを行う。

(ウ) 令和7年度の研修は、情報担当と連携して、学校ウェブサイトの編集等の研修も取り入れている。

② 研修内容

(ア) 任命権者による研修

研修内容	6年度	7年度	備考
初任者研修	1	0	
中堅教諭等資質向上研修	0	4	

(イ) 校内研修

年度	日程	内容	講師
6	朝の打合せ 職員会議	不祥事根絶のための啓発	本校管理職
	4、5月	「学びみらいPASS」教員研修	総合学科キャリア推進室
	5月13日	小論文研修	進路課
	6月	「engine」教員研修	
	6月12日	百問繚乱導入研修	情報委員会 教務・研修課
	6月13日	学習評価に基づいた授業改善	教務・研修課
	7、8月	CMS導入におけるウェブサイト研修	事務 教務・研修課
	10月	安全研修（校内の救急体制）	保健・相談課
	11月	授業公開、ICT活用研修	管理職、事務
	1月	授業力向上のための授業リサーチ （授業アンケートの実施等）	教務・研修課
7	朝の打合せ 職員会議	不祥事根絶のための啓発	本校管理職
	4月	転入職員研修（オリエンテーション）	教務・研修課
	4、5月	「学びみらいPASS」教員研修	総合学科キャリア推進室
	4月2日	探究に関わる「課題設定プログラム」	産業能率大学 教授
	4、6、8月	「engine」教員研修	シヅクリ担当者
	6月4日	小論文研修	進路課
	6月25日	「効果のある学校づくり」の理論と実	鳴門教育大学教職員大学院

		践	教授
	7月23日	いじめ重大事態対応マニュアルの改訂について等	管理職
	7月24日	校内ICTに関する基礎的な研修①	事務、教務・研修課
	8月29日	校内ICTに関する基礎的な研修② コンプライアンス研修	事務、教務・研修課 管理職
	10月	安全研修（校内の救急体制）	保健・相談課
	11月	授業公開、ICT活用研修	管理職、事務
	1月	授業力向上のための授業リサーチ （授業アンケートの実施等）	教務・研修課

③ 成果・課題

(ア) クロームブック、アプリ等で校務や各授業で活用を高める研修を進め、Wi-Fi環境やさらに使いやすいICTの機器等の校内整備が進み、プレゼンテーションルームをはじめ各教室等でICT活用の授業実践、校務アプリ活用などの職員研修を継続、充実できた。全教員が、ICT活用に習熟し「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業力を身に付けるとともに、ユニバーサルデザイン教育の実践を通して、全ての生徒がパソコンなどを使用して参加できる授業の構築を行うことに努めた。

(イ) 令和7年度は、さらにCラーニング、ロイロノート、Googleアカウント活用した授業実践等に加え、百問繚乱等の導入を実践している。職員の高い意欲を維持し、組織的に運営していくICT活用の研修を継続していく。

6 防災対策について

令和6年度は、実際に集合して実践的な訓練を実施し、防災設備・備蓄用品等の確認等もできた。令和7年度は、集合型の防災訓練においては、気温の上昇による熱中症予防のために、屋内での計画としている。環境に対応しつつもより効果的な危機管理対策をしていきたい。

年度	月 日	対 象 者	内 容
6	4月	全職員	防災総合計画の作成、災害対策組織の編成 1年生応急食（災害ビスケット・水）の購入 保護者・生徒・教職員対象Cラーニングの登録
	8月9日	校内警戒本部職員	南海トラフ地震臨時情報で「巨大地震注意報」が発令に伴い、校内警戒本部関係職員で校校内非常用器具の確認
	8月22日	副校長・総務課	「被害状況報告」県との情報伝達訓練
	9月4日	全生徒・全職員	地震発生時の避難・誘導訓練
	12月	全生徒・全職員	火災における生徒避難・誘導訓練 各学年による消火活動訓練
7	4月	全職員	防災総合計画の作成、災害対策組織の編成 1年生応急食（災害ビスケット・水）の購入 保護者・生徒・教職員対象Cラーニングの登録
	7月30日	校内警戒本部職員	トカラ列島の地震による津波警報が発令され、校内における教育活動が中止となり、生徒の下校等の指示、安全確認等

8月	副校長・総務課	「被害状況報告」県との情報伝達訓練
9月3日	全生徒・全職員	地震発生時の避難・誘導訓練
12月	全生徒・全職員	火災における生徒避難・誘導訓練 各学年による消火活動訓練

7 学校開放について

学校の施設設備を有効に活用し、地域に開かれた学校となるため、学校行事に支障のない範囲で積極的に開放している。

令和6年度

施設名	利用日数	延利用人数	利用者負担金	主な利用種別	備考
体育館	152 日	2,580 人	35,100 円	バスケット、バレー	
武道場	66	210	7,108	柔道、少林寺拳法	
計	218	2,790	42,208		

令和7年度

(令和7年7月31日現在)

施設名	利用日数	延利用人数	利用者負担金	主な利用種別	備考
体育館	52 日	1,535 人	10,666 円	バスケット、バレー	
武道場	29	219	2,925	柔道、少林寺拳法	
計	81	1,754	13,591		

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第56条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に 関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 いじめ防止対策推進法（第8条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条）

□□□□

学 校 施 設 の 概 要

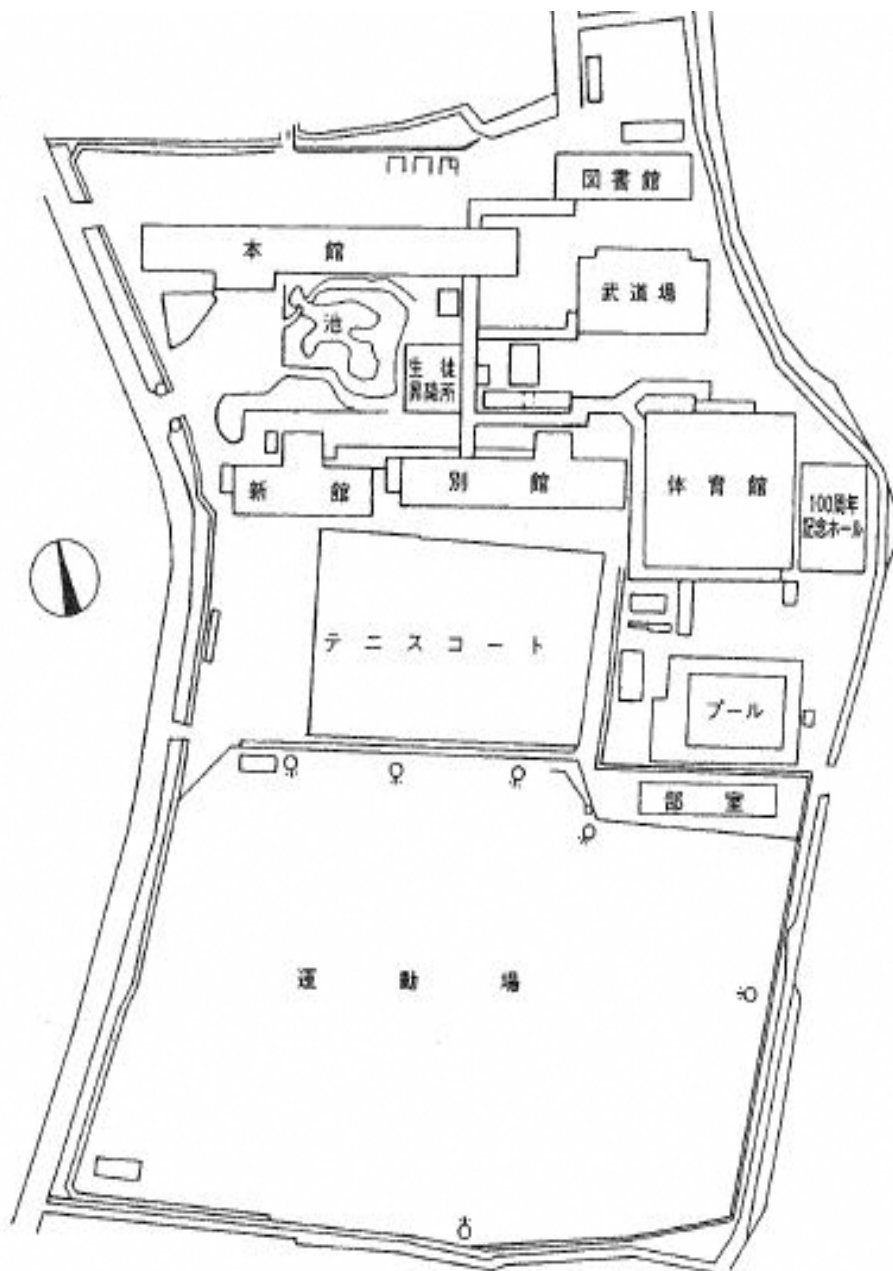
1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市 町 村 有 m ²	後 援 会 有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	37,512.87	37,498.87		14.00			
内 訳	校 舎 敷 地	18,620.09	18,620.09				
	運 動 場 敷 地	18,892.78	18,878.78	14.00			
校 舎	建	2,152.11	2,152.11				
	延	6,971.77	6,971.77				
体 育 館	建	1,184.08	1,184.08				
	延	1,380.46	1,380.46				
武 道 場	建	617.00	617.00				
	延	564.00	564.00				
そ の 他 の 建 物	建	1,922.48	1,922.48				
	延	1,910.48	1,910.48				
プ ー ル	400.00	400.00					25m×16m (7コース)

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	37,512.87㎡	6,971.77㎡	18,892.78㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別		全日制総合学科			
	区分		定員	男子	女子	計
1年	入学者		120	58	56	114
		増加				
		減少				
現在			58	56	114	
2年	入学者		120	52	68	120
		増加				
		減少		1	3	4
	2年時当初			51	65	116
		増加				
		減少			1	1
現在			51	64	115	
3年	入学者		160	60	71	131
		増加				
		減少		3	2	5
	2年時当初			57	69	126
		増加				
		減少		1	1	2
	3年時当初			56	68	124
		増加				
減少			1		1	
現在			55	68	123	
合 計				164	188	352

□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		総合	総合	総合	総合	総合
生徒定員 (A)		200	160	160	120	120
募集者数 (B)		200	160	160	120	120
志願者数	男	64	65 (0)	58 (3)	56	60 (1)
	女	84	71 (2)	70 (1)	70	56
	計 (C)	148	136 (2)	128 (4)	126	116 (1)
受検者数	男	64	63 (0)	57 (3)	56	59 (1)
	女	84	70 (2)	70 (1)	70	56
	計 (D)	148	133 (2)	127 (4)	126	115 (1)
合格者数	男	62	61 (0)	57 (3)	52	58 (1)
	女	84	70 (2)	70 (1)	68	56
	計 (E)	146	131 (2)	127 (4)	120	114 (1)
志願倍率 (C)/(B)		0.74	0.85	0.80	1.05	0.97
受検倍率 (D)/(B)		0.74	0.83	0.79	1.05	0.96
入学者数	男	62	61	60	52	58
	女	84	72	71	68	56
	計 (F)	146	133	131	120	114
充足率 (F)/(A)		0.73	0.83	0.82	1.00	0.95

□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別			総合学科		
年 度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数			161	133	113
内	(進学志願者)		(84)	(63)	(64)
	進 学 者	大学・短大	24	24	23
		専修・各種学校等	60	39	41
		小 計	84	63	64
訳	就職者		75	67	48
	自営者		1	1	1
	進学準備者		0	0	0
	その他		1	2	0
合 計			161	133	113

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	76	68	49
求 人 数	1,087	1,369	1,695
求 人 倍 率	14.3	20.1	34.6

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	総合学科
卒 業 生 徒 数	113
全商 簿記実務検定 2級	4
全商 簿記実務検定 3級	17
全商 電卓実務検定 総合1級	2
全商 電卓実務検定 1級科目合格(普通計算・ビジネス計算)	16
全商 電卓実務検定 2級	1
全商 電卓実務検定 2級科目合格(普通計算・ビジネス計算)	25
全商 電卓実務検定 3級	34
全商 電卓実務検定 3級科目合格(普通計算・ビジネス計算)	10
日検 日本語ワープロ検定 1級	1
日検 日本語ワープロ検定 2級	3
日検 日本語ワープロ検定 準2級	3
日検 日本語ワープロ検定 3級	12
日検 文書デザイン検定 2級	4
日検 文書デザイン検定 3級	6
日検 プレゼンテーション作成検定 1級	1
日検 プレゼンテーション作成検定 2級	1
日検 プレゼンテーション作成検定 3級	6
日検 文章入力スピード認定 1級	1
日検 文章入力スピード認定 準1級	2
日検 文章入力スピード認定 準2級	4
日検 文章入力スピード認定 3級	6
日本漢字能力検定 2級	1
日本漢字能力検定 準2級	4
日本漢字能力検定 3級	8
実用英語技能検定 2級	1
実用英語技能検定 準2級	1
実用英語技能検定 3級	3
介護職員初任者研修課程 修了	6
合 計	183

□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

市町名	裾野市	御殿場市	沼津市	長泉町	三島市	清水町	小山町	その他	合計
生徒数	122	66	63	41	40	10	8	1	351
構成比%	34.8	18.8	17.9	11.7	11.4	2.8	2.3	0.3	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	電車	自転車	徒歩	バス	その他	合計
生徒数	186	72	65	14	14	351
構成比%	53.0	20.5	18.5	4.0	4.0	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	運動部	文化部	未加入者	計	
部(クラブ)数	13	9		22	
男子	1年	29	29	0	58
	2年	29	13	9	51
	3年	27	15	13	55
	計(A)	85	57	22	164
	構成比	51.8	34.8	13.4	100%
女子	1年	12	43	0	55
	2年	18	30	16	64
	3年	20	38	10	68
	計(B)	50	111	26	187
	構成比	26.7	59.4	13.9	100%
合計	(A+B)	135	168	48	351
	構成比	38.5	47.9	13.7	100%

□□□□

(単位制の全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)

期 別	月	調定の状況							収納の状況			異動者等の状況		
		1年		2年		3年		計		納期内 収納額	納期後 収納額		収 入 未 済 額	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額					収 納 率
前 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	<p>A. 期首収納権利発生額 = 1,544,400円 26人×9,900円×6月 = 1,544,400円</p> <p>B. 収納権利増減(▲)額 = 148,500円 <内訳> 7月1日: 就学支援金認定▲3人 3人×9,900円×3月 = ▲89,100円 7月1日: 就学支援金受給資格消滅13人 13人×9,900円×3月 = 386,100円 11月12日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×3月 = ▲29,700円 12月6日: 就学支援金認定▲2人 2人×9,900円×3月 = ▲59,400円 1月6日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×3月 = ▲29,700円 1月9日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×3月 = ▲29,700円</p> <p>C. 収納必要額 A (±) B = 1,692,900円</p>
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
期	10	14	623,700	16	772,200	9	445,500	39	1,841,400	1,574,100	85.5		267,300	
	11			▲1	▲29,700			▲1	▲29,700	▲29,700		267,300	0	
	12			▲1	▲29,700	▲1	▲29,700	▲2	▲59,400	▲29,700		▲29,700		
	1	▲2	▲59,400					▲2	▲59,400	▲59,400				
	計	12	564,300	14	712,800	8	415,800	34	1,692,900	1,455,300	86.0	237,600	0	
後 期	10													<p>A. 期首収納権利発生額 = 2,138,400円 36人×9,900円×6月 = 2,138,400円</p> <p>B. 収納権利増減(▲)額 = ▲396,000円 <内訳> 11月12日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×6月 = ▲59,400円 12月4日: 就学支援金認定▲2人 2人×9,900円×5月 = ▲99,000円 12月6日: 就学支援金認定▲2人 2人×9,900円×6月 = ▲118,800円 1月6日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×6月 = ▲59,400円 1月9日: 就学支援金認定▲1人 1人×9,900円×6月 = ▲59,400円</p> <p>C. 収納必要額A (±) B = 1,742,400円</p>
	11													
	12													
	1	11	554,400	12	712,800	8	475,200	31	1,742,400	1,564,200	89.8		178,200	
	2											178,200		
	3													
	計	11	554,400	12	712,800	8	475,200	31	1,742,400	1,564,200	89.8	178,200		
合 計		23	1,118,700	26	1,425,600	16	891,000	65	3,435,300	3,019,500	87.9	415,800	0	D. 収納必要額 = 3,435,300円

□□□□

(単位制の全日制)

授業料収納状況調

(令和7年度) (令和7年7月31日現在)

期 別	月	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額 = 1,366,200円 23人×9,900円×6月 = 1,366,200円 B. 収納権利増減(▲)額 = 0円 C. 収納必要額A(±)B = 1,366,200円
前	5													
	6													
	7													
	8													
期	9													
	10													
	計													
後	10													
	11													
	12													
期	1													
	2													
	3													
	計													
合計														D. 収納必要額 = 1,366,200円

□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年7月31日現在)
	件 数	件 数
全日制高等学校入学検定料	116件	0件

□□□□

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
スルガ銀行 裾野支店	無利息型 普通預金	509776	裾野高等学校資金前渡者 裾野高等学校長 鎌田 正幸	0	給与等の支給
スルガ銀行 裾野支店	無利息型 普通預金	434308	(自振口) 裾野高等学校資金前渡者 裾野高等学校長 鎌田 正幸	0	都市ガス、水道料、 電話料、社会保険料 等の支払
残 高 合 計				0	

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		331,047	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		534,292	
計					418,643	865,339	0
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,459,500	
計					0	3,459,500	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		472,010	
計					0	472,010	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		39,091,200	
計					41,258,300	39,091,200	0
(21) 補償、補填 填及び賠填 償金							
計					0	0	0

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	259,000	0
計					259,000	0
(14) 工事 請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	140,470	0
計					140,470	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	48,900	0
計					48,900	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金						
計					0	0

□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出面日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 可燃物収集運搬・処分業務	㈱富士美装グリーンサービス	円 237,600	円 237,600	円 0	円 237,600	随契	自R6. 4. 3 至R7. 3. 31	R6. 5. 30 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 28 R7. 4. 25 (小計)	円 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 19,800 237,600	一般廃棄物の収集・運搬及び処分	随契1号 (少額)
2	学校案内デザイン業務	㈱日々	99,000	99,000	0	99,000	随契	自R6. 4. 26 至R6. 8. 9	R6. 9. 18	99,000	学校案内のデザイン作成	随契1号 (少額)
3	産業廃棄物収集運搬・処分	セキトランスシステム㈱	99,000	99,000	0	99,000	随契	自R6. 11. 8 至R7. 1. 31	R7. 1. 31	99,000	産業廃棄物の収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
4	PCB濃度分析	東海プラント分析センター(株)	352,000	352,000	▲20,953	331,047	随契	自R7. 1. 27 至R7. 3. 27	R7. 4. 1	331,047	PCB濃度分析	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物収集運搬・処分	セキトランスシステム㈱	98,692	98,692	0	98,692	随契	自R7. 2. 26 至R7. 3. 28	R7. 4. 21	98,692	産業廃棄物の収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
事務関係計			5件 886,292	886,292	▲20,953	865,339				865,339		
合計			5件 886,292	886,292	▲20,953	865,339				865,339		
参考1	機械警備業務	セコム㈱	/	4,719,000	155,763	4,874,763	/	自R1. 10. 1 至R6. 9. 30	/	/	御殿場高校外4校の機械警備業務	R1長期御殿場
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	金指電気管理事務所 金指 周治	/	760,870	0	760,870	/	自R6. 4. 1 至R7. 3. 31	/	/	御殿場南高校外2校の電気工作物の保安管理点検	御殿場南
参考3	消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器㈱	/	4,493,852	0	4,493,852	/	自R6. 4. 1 至R7. 3. 31	/	/	御殿場高校外4校火災報知機救命袋・配線等保守点検	御殿場
参考4	プール浄化装置保守点検業務	三友水処理㈱	/	196,680	0	196,680	/	自R6. 4. 11 至R6. 11. 30	/	/	沼津西高校外11校の機器(動力盤を含む)並びに配管の点検運転操作指示	沼津西
計			4件	10,170,402	155,763	10,326,165						

□□□□

委 託 料 に 関 する 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 可燃物収集運搬・処分業務	(有) 野原商事	円 264,000	円 264,000	円 0	円 264,000	随契	自R7. 4. 2 至R8. 3. 31	R7. 5. 30 R7. 6. 30 R7. 7. 31	円 22,000 22,000 22,000 (小計) 66,000	一般廃棄物の収集・運搬及び処分	随契1号 (少額)
2	SDGsカードゲーム業務	一般社団法人まちの遊民社	91,300	83,000	0	83,000	随契	自R7. 4. 3 至R7. 6. 30	R7. 5. 20	83,000	第2学年総合的な探究の時間におけるSDGsカードゲームの実施	随契1号 (少額)
3	学校案内デザイン業務	㈱日々	110,000	110,000	0	110,000	随契	自R7. 4. 18 至R7. 8. 8	R7. 6. 23	110,000	学校案内のデザイン作成	随契1号 (少額)
	事務関係 計	3件	465,300	457,000	0	457,000				259,000		
	合 計	3件	465,300	457,000	0	457,000				259,000		
参考 1	機械警備業務	セコム㈱	/	9,900,000	0	9,900,000	/	自R6.10. 1 至R11. 9. 30	/	/	御殿場高校外5校の機械警備業務	R6長期 御殿場
参考 2	自家用電気工作物 保安管理業務	金指電気管理事務所 金指 周治	/	765,600	0	765,600	/	自R7. 4. 1 至R8. 3. 31	/	/	御殿場南高校外2校の電気工作物の保安管理点検	御殿場南
参考 3	消防用設備等保守 点検業務	伊豆防災機器㈱	/	4,579,652	0	4,579,652	/	自R7. 4. 1 至R8. 3. 31	/	/	御殿場高校外4校 火災報知機救命袋・配線等保守点検	御殿場
参考 4	プール浄化装置保守 点検業務	三友水処理㈱	/	183,700	0	183,700	/	自R7. 4. 11 至R7. 11. 28	/	/	沼津西高校外10校の機器（動力盤を含む）並びに配管の点検運転操作教示	沼津西
	計	4件	/	15,428,952	0	15,428,952	/	/	/	/	/	/

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会 会長 石崎 規生	開催要項	全国高等学校長協会総会・研究協議会の開催	円 4,000	振替日 R6.5.1
2	東海四県高等学校長連絡協議会総会・協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会 会長 高井 俊直	開催要項	東海四県高等学校長連絡協議会総会・協議会の開催	2,000	振替日 R6.7.1
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (前期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	振替日 R6.10.11
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (前期分 335名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,423,800	振替日 R6.10.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (7月から9月分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 R6.11.18
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (7月から9月分 2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	振替日 R6.12.11
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (10月から12月分 2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	振替日 R6.12.26
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (7月から9月分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 R7.1.10
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (7月から9月分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 R7.1.14
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (11月から3月分 2名分、後期分 325名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,404,000	振替日 R7.1.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (3月分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の過納となった授業料を戻入する	▲ 9,900	振替日 R7.2.13
	計		11件		39,091,200	

□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会 会長 石崎 規生	開催要項	全国高等学校長協会 総会・研究協議会の 開催	円 4,000	R7. 4. 23
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会の受講料及び受験料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	開催要項	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会の受講及び受験	13,200	R7. 5. 8
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会 会長 織田 敦	開催要項	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会の開催	2,000	R7. 6. 30
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (4月から6月分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 R7. 7. 10
計			4件		48,900	

□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度静岡県立裾野高等学校 学校高圧ケーブルほか更新工 事	裾野市佐野地内	円 2,376,000	円 2,376,000	円 0
2	教育管理費	令和6年度静岡県立裾野高等 学校プールろ過ポンプ更新工 事	裾野市佐野地内	円 1,177,000	円 1,083,500	円 0
参考 1	本庁経理	令和6年度 [第36-Z0334-01 号] 裾野高等学校グラウンド照明改 修工事	裾野市佐野地内	円 31,163,000	円 30,151,000	円 1,078,000
		合 計	3件	34,716,000	33,610,500	1,078,000

na

様式第19号

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
	該当なし			円	円	円

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円 2,376,000	随契	小林電気工 業(株)	R6.12.2 R6.12.26	円 2,376,000	絶縁不良が発生した高 圧ケーブルの更新	—	令達 R6.11.28 最終支払年月日 R7.2.3 随契1号(少額)
円 1,083,500	随契	三友水処理 (株)	R6.12.2 R7.3.13	円 1,083,500	プールろ過ポンプの更 新	—	令達 R6.11.19 最終支払年月日 R7.4.9 随契1号(少額)
円 31,229,000	一般	(株)古南 電機商会	R6.7.5 R6.11.29	円 31,229,000	グラウンド照明を改修す る。	—	本庁経理 沼津土木事務所 建築住宅課
34,688,500				34,688,500			

事 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円				円			

□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘 要
	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	数量又は面積	台 帳 格	
行政財産		千円 2,561,523		千円 6,141		千円 9,887		千円 2,557,777	
土 地	m ² 37,498.87	2,486,175					m ² 37,498.87	2,486,175	
立木竹	17本	328			4本	54	13本	274	
建 物	$\frac{5,875.67}{10,826.71}$	53,212				5,328	$\frac{5,875.67}{10,826.71}$	47,884	
工作物	97個	21,808	3個	6,141		4,505	100個	23,444	
普通財産		24,736						24,736	
土 地	367.63	24,736					367.63	24,736	
公有財産に 準ずるもの		54						54	
電話加入権	4	54					4	54	

令和7年度中増減なし

□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	裾野市佐野900-4	学校用地	学校用地	14㎡	円 —	円 無償	H26.4.1 ～ (工事着手)	裾野市長	学校用地
2	工作物	冷暖房装置	裾野市佐野900-1			1個	円 —	円 474,085	R3.7.1 ～ R16.6.30	三井住友ファイナンス &リース株式会社	普通教室空調
3	工作物	築庭	裾野市佐野900-1			1個	円 —	円 無償	R5.11.2 ～ R10.3.31	一般社団法人静岡県 立裾野高等学校後援 会長	120周年記念プレート 等
4	工作物	冷暖房装置	裾野市佐野900-1			1個	円 —	円 4,120,283	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TCリース株式会 社 静岡支店	特別教室空調
5	建物	倉庫建	裾野市佐野900-1			35.47㎡	円 —	円 無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人静岡県 立裾野高等学校後援 会長	生徒会活動等で使用 する物品の保管のため の倉庫
6	建物	雑屋建	裾野市佐野900-1			9.6㎡	円 —	円 無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人静岡県 立裾野高等学校後援 会長	防災倉庫
	計					59.07㎡ 3個		4,594,368			

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
長期 継続 契約	電子複写機賃貸借契約	電子複写機 2台 (契約日) 令和6年4月1日	円 499,686	円 99,937	円 99,937	円 99,937	円 99,937	円 99,938
	印刷機賃貸借契約	印刷機 2台 (契約日) 令和6年4月1日	円 3,498,000	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600	円 699,600

□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的	
				台帳	現況		単価	年額				
1	土地	学校敷地	裾野市佐野900-1	学校用地	学校用地	18.10 m ²	円	免除	R4. 4. 1 ～ R8. 3. 31	裾野市長	防災倉庫	
2	"	"	" 900-2	"	"	0.48 m ²	円	免除	R4. 4. 1 ～ R8. 3. 31	裾野市長	広域避難地表示板	
3	"	"	" 900-1	"	"	6.60 m ²	円	免除	R4. 4. 1 ～ R8. 3. 31	裾野市長	耐震性貯水槽	
4	"	"	" 900-1	"	"	53.63 m ² 7.00 m	円	免除	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	裾野市長	耐震性貯水槽 (地下埋設)	
5	建物	事務所建	" 900-1	RC造 4F建	RC造 4F建	1.00 m ²	円	免除	R4. 4. 1 ～ R8. 3. 31	裾野市長	防災無線 (行政無線)	
6	土地	学校敷地	" 900-1	学校用地	学校用地	1.25 m ²	円	免除	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	国土交通省国土地理院 中部地方測量部長	四等三角点 二等水準点	
7	"	"	" 900-1	"	"	6 本	1,500	9,000	R4. 4. 1 ～ R9. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	本柱4本 支柱1本 支柱1本	
8	"	"	" 900-1	"	"	7 本	1,500	10,500	R4. 4. 1 ～ R9. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株) 静岡総支社長	本柱2本、小柱 2本、支線柱1 本、支線2条	
9	"	"	" 900-2	"	"	6 本	1,500	9,000	R4. 4. 1 ～ R9. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株) 静岡総支社長	本柱4本 支線2条	
10	"	"	" 900-1	"	"	2.09 m ²	円	免除	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	裾野高等学校 校友会会長	開学百周年記念 碑	
11	"	"	" 900-1	"	"	2.30 m ²	円	免除	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	裾野高等学校 校友会会長	校歌石碑	
12	"	"	" 900-1	"	"	5.70 m ²	円	免除	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	裾野高等学校 校友会会長	造園事業記念碑	
13	"	"	" 900-1	"	"	3.22 m ²	円	免除	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	裾野高等学校 校友会会長	校訓石碑	
14	土地 建物	学校敷地 事務所建	" 900-1	学校用地 RC造 4F建	学校用地 RC造 4F建	12.50 m ² 3.30	円	免除	R7. 4. 1 ～ R10. 3. 31	(一社)裾野高等学校 後援会会長	執務場所 駐車場	
15	建物	学校敷地	" 900-1	RC造 4F建 2F建	RC造 4F建 2F建	10.80 m ²	円	免除	R6. 4. 1 ～ R9. 3. 31	(一社)裾野高等学校 後援会会長	パン・弁当販売	
16	土地 建物	学校敷地 事務所建	" 900-1	RC造 2F建	RC造 2F建	12.50 m ² 3.30	円	免除	R7. 4. 1 ～ R10. 3. 31	静岡県立裾野高等学校 PTA会長	執務場所 駐車場	
17	土地	学校敷地	" 900-1	学校用地	学校用地	8.00 m ²	円	1,366,200	R6. 4. 1 ～ R9. 3. 31	コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン株式会社ベンディン グ中部日本地区統括部ベン ディング静岡支店長	飲料用自動販売 機4台	
18	"	"	" 900-1	"	"	110.00 m ²	円	免除	R7. 5. 16 ～ R7. 12. 19	裾野市長	市道整備工事	
合計								28,500				

□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分		品名・規格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	その他の情報処理機器	講義室5パソコン装置一式	毎日(年間240日) 資料検索・作成・プレゼン テーション等	令和4年 3月	15,070,000
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	第2パソコン室LAN一式	毎日(年間240日) 文書作成・表計算処理等	平成30年 3月	9,828,000
3	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	第1パソコン室LAN一式	月12日(年間140日) 文書作成・表計算処理等	平成30年 3月	4,690,980
4	03-03	プロジェクター	プロジェクター一式 普通教室15台	毎日(年間240日) 授業、学校行事	令和3年 3月	3,506,250
5	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	タブレット端末・充電保管 庫一式	毎日(年間240日) 授業	令和3年 3月	1,904,109
6	02-02	放送装置	職員室放送装置 非常放送機	毎日(年間240日) 校内連絡、非常時	平成16年 1月	1,302,000
7	10-99	その他の教育用器具	視聴覚室机・椅子 コクヨ 100人用	月4日(年間48日) 視聴覚授業、部活動	平成3年 3月	1,026,298
8	02-02	放送装置	体育館放送装置 放送装置	毎日(年間240日) 体育授業、学校行事、部 活動	平成4年 2月	1,024,000
9	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ G-5A	毎日(年間240日) 音楽授業、部活動	昭和61年 3月	945,000
10	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
11	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
12	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
13	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
14	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
15	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
16	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
17	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
18	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
19	10-06	教育調理器具	生徒用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	640,660
20	10-06	教育調理器具	教師用調理台	月8日(年間96日) 調理実習、部活動	平成9年 3月	607,700

□□□□

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	鎌田 正幸		□ □ □ □	年 月 □ □	□□□□
2	副 校 長	大石 友美		□ □ □ □	□ □	□□□□
3	教 頭	芹沢 秀巳	理 科	□ □ □ □	□ □	□□□□
4	事 務 長	岸本 祐司	事務総括	□ □ □ □	□ □	□□□□
5	教 諭	岡部 純一	国 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
6	教 諭	亀田 愛	国 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
7	教 諭	加藤 祈実子	国 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
8	教 諭	柴田 華波	国 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
9	教 諭	松下 弘志	地歴公民	□ □ □ □	□ □	□□□□
10	教 諭	富田 稔	地歴公民	□ □ □ □	□ □	□□□□
11	教 諭	大西 集哉	地歴公民	□ □ □ □	□ □	□□□□
12	教 諭	菊地 和彦	数 学	□ □ □ □	□ □	□□□□
13	教 諭	齊藤 綾一	数 学	□ □ □ □	□ □	□□□□
14	教 諭	佐藤 瑞葉	数 学	□ □ □ □	□ □	□□□□
15	教 諭	内野 裕佐	理 科	□ □ □ □	□ □	□□□□
16	教 諭	河上 力哉	理 科	□ □ □ □	□ □	□□□□
17	教 諭	野村 和弘	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
18	教 諭	木村 瞳	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
19	教 諭	植松 裕美子	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
20	教 諭	竹内 力也	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
21	教 諭	水口 和典	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
22	教 諭	後藤 至	保健体育	□ □ □ □	□ □	□□□□
23	教 諭	村山 仁	芸 術	□ □ □ □	□ □	□□□□
24	教 諭	塩谷 陽一	英 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
25	教 諭	小館 ゆう子	英 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
26	教 諭	遠藤 千晴	英 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
27	教 諭	杉山 美夏	英 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
28	教 諭	渡辺 篤	英 語	□ □ □ □	□ □	□□□□
29	教 諭	高橋 沙南	家 庭	□ □ □ □	□ □	□□□□
30	教 諭	五十嵐 友紀	家 庭	□ □ □ □	□ □	□□□□
31	教 諭	安達 のぞみ	福 祉	□ □ □ □	□ □	□□□□
32	教 諭	福田 千恵	福 祉	□ □ □ □	□ □	□□□□
33	教 諭	諏訪部 利実	商 業	□ □ □ □	□ □	□□□□
34	教 諭	石田 静香	商 業	□ □ □ □	□ □	□□□□
35	教 諭	小堀 貴志	商 業	□ □ □ □	□ □	□□□□
36	養 護 教 諭	鈴木 早苗	養 護	□ □ □ □	□ □	□□□□
37	実 習 助 手	尾張 歩	商 業	□ □ □ □	□ □	□□□□
38	主 任	杉本 啓輔	会計・管財・庶務	□ □ □ □	□ □	□□□□
39	主 事	高島 友貴	給与・管財・庶務	□ □ □ □	□ □	□□□□
40	主任技能員	佐々木 梓	用 務	□ □ □ □	□ □	□□□□
平均年数					2年 7か月	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数		摘 要
					年	月	
1	教諭（臨）	鈴木 和子	国 語	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
2	教諭（臨）	大塚 日真莉	理 科	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
3	外国語指導講師	Paul Amishka	英 語	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
4	非常勤講師	坂本 真樹子	国語・書道	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
5	非常勤講師	吉田 正治	地歴公民	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
6	非常勤講師	中島 将治	数 学	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
7	非常勤講師	守屋 信郎	英 語	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
8	非常勤講師	望月 裕史	美 術	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
9	非常勤講師	塩川 晴美	美 術	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
10	非常勤講師	水野 英美	音 楽	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
11	非常勤講師	杉山 奈央	書 道	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
12	非常勤講師	遠藤 裕美	通 級	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
13	非常勤労務職員	浜口 翔	用 務	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
14	非常勤労務職員	浦口 昌子	庶務・用務	□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
15	スクールカウンセラー	河村 恵理		□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
16	スクールカウンセラー	鈴木 順一		□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
17	部活動指導員	佐藤 正樹		□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	
18	非常勤嘱託員	山田 美津子		□ □ □ □	□ □	□ □ □ □	

□□□□

職員の年齢調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	4 人	
30歳以上40歳未満	9 人	
40歳以上50歳未満	10 人	
50歳以上56歳未満	6 人	
56歳以上61歳未満	5 人	
61歳以上	6 人	再任用職員 5人
計	40 人	平均年齢 46.6歳

□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 42 人
	職員数 44 人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

産休・育休 2人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 人
B 2		要 経 過 観 察 人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 人
C 2		要 経 過 観 察 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 4 (4) 人
D 2		要 経 過 観 察 8 (8) 人
D 3		医 療 不 要 29 (29) 人
区 分 者 計		41 (41) 人
未 区 分 者 数		1 (1) 人
合 計		42 (42) 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人

イ 新規採用 人

ウ 自己都合による未受診 1人

エ その他 人

()